



News Release

**「光と画像領域での新たな挑戦」をテーマに
「平成 27 年度 コニカミノルタ画像科学奨励賞」を公募**

2015年7月1日

公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団（理事長 太田 義勝：コニカミノルタ株式会社 特別顧問、以下 財団）は、画像領域の研究に従事する若手研究者を対象に「平成 27 年度コニカミノルタ画像科学奨励賞」を以下の通り公募いたします。

名称	平成 27 年度コニカミノルタ画像科学奨励賞
基本テーマ	光と画像領域での新たな挑戦
募集対象の研究分野	1. 光と画像に関する材料及びデバイスの研究 2. 光と画像に関するシステム及びソフトウェアの研究 3. 光と画像に関するその他の先端的な研究
応募資格	日本の大学、国公立及び民間公益研究機関に所属する研究者で、個人またはグループ。 但し、年齢は 40 才以下（平成 27 年 9 月 30 日現在、グループは代表者）。
助成内容	奨励賞（優秀賞） 3 件程度（副賞：1 件 100 万円） 奨励賞 9 件程度（副賞：1 件 50 万円）
選考基準	「発想の独創性」「計画の具体性」「波及効果」「実現性・実用性」の 4 項目で評価。この中で、「発想の独創性」を最も重視。
応募手続	財団ホームページに掲載 http://konicaminolta.jp/pr/foundation/
応募締切	2015 年 9 月 30 日

基本テーマである「光」と「画像」領域は、時代とともに関連分野が益々広がりを見せています。「光」には、粒子と波動という二つの性質により、太陽電池で代表されるエネルギー的側面と光通信で代表される情報伝達の側面があります。そのため、光化学、光学、分光学、材料、通信、そして医学への応用など非常に幅広い分野が関連します。一方、「画像」は、ネットワーク化からクラウド化へと進化しつつ、コンピューターや情報処理技術と融合し、新たな研究領域を形成しています。そのような進化に伴い、画像科学や情報科学から、細胞分野などのバイオサイエンスへと、すそ野が拡大しています。本年も、様々な研究分野における画像技術の活用や斬新な発想による、光と画像科学にかかわる研究のご応募をお待ちしています。

* 財団について

1966 年の設立以来、画像科学の研究や写真にかかわる文化活動を助成することで、学術を振興し、文化を向上させることを目的に活動を続けてきました。その活動の中でも、1994 年に開始した「コニカミノルタ画像科学奨励賞」は、様々な新技術の核となる画像領域で活躍する若手研究者の活動を援助する目的で幅広く公募するものです。

本件に関するお問い合わせ先

報道関係：コニカミノルタ株式会社 広報グループ TEL：03-6250-2100
一般の方：公益財団法人 コニカミノルタ科学技術振興財団 事務局
(コニカミノルタ株式会社内) TEL：03-6250-2120